

令和7年9月伊勢原市教育委員会定例会議事録

1 開催日時

令和7年9月26日（金）午後2時から午後2時32分まで

2 開催場所

伊勢原市役所 3階 第3委員会室

3 教育長及び委員

教育長	宮村 進一
委員（教育長職務代理者）	福田 雅宏
委員	濱田 光子
委員	桑原 公美子（欠席）
委員	長塚 繁昭

4 説明のために出席した職員等

教育部長	熊澤 信一
学校教育担当部長	今井 仁吾
歴史文化推進担当部長	
（兼）歴史文化担当課長	立花 実
参事（兼）教育総務課長	瀬尾 哲也
教育総務課施設担当課長	畠山 純徳
参事（兼）学校教育課長	守屋 康弘
教育指導課長	西野 厚志
教育センター所長	田中 美和
社会教育課長	青木 優
参事（兼）図書館・子ども科学館長	林 かをり

5 会議書記

教育総務課係長	窪田 暁大
---------	-------

6 傍聴人

0人

7 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 教育長職務代理者の指名について

日程第3 教育長報告

（1）「大山小学校小規模特認校制度」に係る就学指定校変更について

【資料1：教育指導課長】

日程第 4 議案第 3 1 号 令和 7 年度伊勢原市教育委員会点検評価について
その他

----- ○ -----
午後 2 時 0 0 分 開会

○教育長【宮村進一】 それでは、定刻となりました。

本日の出席委員は 4 名で、教育長及び在任委員の過半数以上が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に基づきまして、ただいまから教育委員会議を開催いたします。

それでは、教育総務課長から、まず、資料の確認をお願いします。

○参事（兼）教育総務課長【瀬尾哲也】 （資料確認）

○教育長【宮村進一】 皆さん、よろしいでしょうか。

○教育長及び委員全員 （了承）

----- ○ -----

日程第 1 前回議事録の承認

○教育長【宮村進一】 それでは、日程第 1、前回議事録の承認です。お願いします。

○教育長及び委員全員 （承認）

○教育長【宮村進一】 ありがとうございます。

----- ○ -----

日程第 2 教育長職務代理者の指名について

○教育長【宮村進一】 続きまして、日程の第 2、教育長職務代理者の指名についてです。

地教行法第 13 条第 2 項は、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員がその職務を行うと規定されております。現在の職務代理者でございます福田委員の任期が令和 7 年 9 月 30 日までであることから、次期職務代理者に濱田委員を指名させていただきましたので、報告をします。次期職務代理者の任期は、慣例によりまして令和 7 年 10 月 1 日から令和 8 年 9 月 30 日までの 1 年間といたしますので、濱田委員、よろしくお願いいたします。

また、福田委員におかれましては、教育委員の任期が令和 7 年 9 月 30 日で満了となりますが、先日開催されました市議会 9 月定例会におきまして、教育委員の再任の議案が承認されましたので、併せて御報告いたします。

それでは、福田委員と濱田委員から御挨拶をお願いします。

○委員【福田雅宏】 改めまして、2 期目ということで、よろしくお願いいたします。

○委員【濱田光子】 まだ1期途中ですが、考えることとか勉強することばかりで、御迷惑をかけると思いますが、よろしくお願いいたします。

○教育長【宮村進一】 ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、福田委員の任命書交付式を10月1日水曜日の午前8時40分から市長公室にて執り行いますので、御承知おきください。

報告は以上でございます。

----- ○ -----

日程第3 教育長報告

○教育長【宮村進一】 続きまして、日程第3、教育長報告です。本日は1件です。大山小学校小規模特認校制度に係る就学指定校変更について、教育指導課長から報告をお願いします。

○教育指導課長【西野厚志】 大山小学校の小規模特認校制度に係る就学指定校変更について、資料1を御覧ください。

まず最初に、おわびでございます。項番2「令和7年度に向けた流れ」となっておりますが「令和8年度に向けた流れ」に資料を訂正いたします。よろしくお願いいたします。

改めまして、資料1を御覧ください。項番1、伊勢原市立大山小学校、令和2年度から大山小学校では小規模特認校制度を活用し、学区外からの児童を募集しており、来年度についても準備を進めてまいります。

募集学年は第1学年。受入れ人数は、学区の児童数を含め12人以内。通常の学級のみとします。就学要件につきましては、①から⑤のとおりです。

続いて、項番2、令和8年度に向けた流れです。

(1) 周知ですが、新入学予定者の保護者に対し、就学時健康診断の案内通知とともに、チラシを年長児の御家庭に9月中に既に発送済みです。また、市民周知として、市ホームページへ掲載するとともに、広報いせはら10月1日号へ掲載予定です。

次に(2) 事業説明会につきましては、今年度も、大山小学校の教育環境や授業内容について保護者の方に理解してもらうために、令和7年10月31日金曜日に説明会を予定しています。

(3) 申請手続きについては、次のア、イ、ウの記載のとおりです。

以上です。

○教育長【宮村進一】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明につきまして御質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

○委員【福田雅宏】 2点質問なんですが、小規模特認校制度というのは、特色ある教育推進事業として行われたものと承知しておりますけれども、改めて経

緯と事業の狙いを確認したいのが1点と、もう一点は、少人数の大山小ならではの教育という視点で、具体的にどのような特色ある取組が行われているかをお聞かせください。

○教育指導課長【西野厚志】 お答えいたします。

大山小学校は、地域に根差したグローバル人材の育成を目指し、モデル校として、外国語教育の充実、自然体験や伝統文化の学習、ICT機器の活用を3本柱に、平成26年に文部科学省の教育課程特例校の認可を受け、特色ある教育を推進してまいりました。

そして、大山小学校で学ばせたいという希望がある御家庭には、一定の条件の下、市内の他学区から就学指定校の変更を認めております。

その後、令和元年に学習指導要領が改訂され、モデル校の大山小学校と同様に全校で外国語授業が行われることになりました。令和2年度からは、大山小学校を小規模特認校に指定して、引き続き、市内の他学区の児童を受け入れながら、大山小学校の特色ある教育活動を推進しております。

大山小学校の少人数ならではの教育については、資料2ページの大山小学校の特色をご覧ください。1点目は、少人数を生かした体験活動の充実です。少人数という教育環境の利点を生かして、学習している中で自分の考えや感想、意見を表現する機会を多く設定できること、また、5年生・6年生の外国語、3・4年生の外国語活動において、一人一人がALTの外国語指導助手の先生と多く関わることで、表現活動や体験活動を通じた表現活動やコミュニケーション能力が育てていきます。

2点目は、異学年交流等を通じた豊かな教育活動ということで、学年の枠を超えた縦割り活動等が設定しやすく、様々な学年の子どもたちのつながりから、思いやりや責任感が自然な形で培われていきます。

3点目は、自然環境や地域に根差した伝統文化を生かした教育活動です。大山地域の自然環境、自然体験として田植えや稲刈りを取り入れた体験活動をしたり、伝統文化の創作狂言を披露したりしています。

以上でございます。

○委員【福田雅宏】 創作狂言は、どこで発表しているんですか。

○学校教育担当部長【今井仁吾】 基本的には学校の中で、また公民館まつりでも発表していると聞いております。

○委員【福田雅宏】 ありがとうございました。

○教育長【宮村進一】 他にいかがでしょうか。長塚委員。

○委員【長塚繁昭】 資料に受入人数が12名以内とあります。近年は、何名の児童が、学区外から入学していらっしゃるのか。それから、その方たちはみんな卒業までいらっしゃるのか伺います。

また、卒業後の進路ですが、大山小の子が通う山王中学校に進学されるのか、それとも指定校変更前の中学校に行かれるのか実態を伺います。

○教育指導課長【西野厚志】 令和4年から令和7年度の学区外児童の実績ですが、令和4年度が7名、令和5年度が2名、令和6年度が6名、令和7年度が

3名で、すべての児童が大山小学校を卒業しています。

卒業後の進路先ですが、原則として、お住まいの学区の中学校へ進学することとなりますが、山王中学校への進学も可能です。

○委員【長塚繁昭】 分かりました。保護者からは、この制度についてどのような声が挙がっていますか。

○教育指導課長【西野厚志】 例えば、少人数だから、自分の考えや意見を気軽に発表できる雰囲気があるだとか、先生の目が行き届きやすいので安心して授業や活動に取り組むことができる、それから、ALTの先生と身近に関わることができる、コミュニケーション活動が楽しいなどの声を聞いております。

一方で、教職員からは保護者の方の送迎など、通学における負担があるという話も伺っております。

○委員【長塚繁昭】 もう一点。就学条件では募集学年が原則新1年生とされていますが、途中の学年から大山小へ通いたいという声はありますか。

○教育指導課長【西野厚志】 現在のところ伺っていません。

○委員【長塚繁昭】 希望はあるが、お断りしたということもない？

○教育指導課長【西野厚志】 そうですね。はい。今年度のところは伺っていません。

○委員【長塚繁昭】 分かりました。

○教育長【宮村進一】 他にいかがでしょう。

○委員【濱田光子】 10月末に説明会を開催とありますが、近年の実績で、説明会に来られた保護者の人数を伺います。

○教育指導課長【西野厚志】 直近の4年間の実績ですが、令和3年は20名、令和4年、5年が15名ずつ、そして、令和6年が9名御参加いただいています。

○委員【濱田光子】 あともう一点、今の質問とも関連するんですが、恐らく幼稚園、保育園の親御さんたちは、来年から小学校はここに行くんだよというお気持ちの中でお育てになられて、年長になって初めてこういう制度があるとお聞きして、大山に行かせてみたいなと思ったときには、もうこの時期ですと時間がありませんよね。

説明会の時期をもう少し早めるとか、あるいは、広報に載せるとおっしゃいますけれども、新聞を取らない御家庭も多いかと思いますが、他の周知方法についても、今後、検討するような考えはありますか。

○教育指導課長【西野厚志】 濱田委員が仰るとおり、9月に健診の通知を送って、10月31日に説明会だと期間が短いので、幼稚園で言うと年中とか年少の年齢層に対しても、早めに周知する必要があると考えています。

そこで、教育委員会では子ども部と調整を進め、例えば、3歳児健診時の周知や各幼稚園へのチラシ等の配架の準備を進めていきたいと考えています。

○委員【濱田光子】 紙媒体の説明だけだと、大山小のすばらしさが分からないこともあるかと思いますが、保護者向けの見学会など、実際に大山小の教育現場を見ていただく機会があってもいいのではないかなと感じました。

○教育指導課長【西野厚志】 ありがとうございます。

○学校教育担当部長【今井仁吾】 事業が始まった当初は、説明会や見学会を行ってきた経緯もありましたが、コロナ禍で一旦、途絶えてしまいまして、今はこういった形で年間1回の開催ということになっています。先ほどおっしゃっていただいたように、説明会の人数が少し減ってきているということは、こちらも周知の仕方は検討しなきゃいけないなと思っています。改めて、そこも含めて検討してまいります。

○委員【濱田光子】 お願いします。

○教育長【宮村進一】 ありがとうございます。よろしくお願いします。

----- ○ -----

日程第4 議案第31号 令和7年度伊勢原市教育委員会点検評価 について教育長報告

○教育長【宮村進一】 続きまして、日程の第4、議案第31号 令和7年度伊勢原市教育委員会点検評価について、提案説明を教育部長からお願いいたします。

○教育部長【熊澤信一】 お手元の議案の1ページを御覧ください。議案第31号 令和7年度伊勢原市教育委員会点検評価につきましては、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第8号の規定により提案をするものでございます。

議案の下部、下の中央に記載をされておりますページ番号で御説明いたします。6ページをお開きください。こちら点検評価の概要となります。

まず、項番の1、点検評価の趣旨を御覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定によりまして、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられておりまして、評価で得られました課題等を次年度以降に反映を図るといったことが目的としてございます。

次に、項番の2、点検評価の対象でございます。評価の対象につきましては、第3期教育振興基本計画実施計画に計上いたしました77の取組のうち、他部が所管しております取組を除きました63の取組を対象にしております。

次に、8ページの項番5、経過を御覧ください。点検評価に当たりましては、5月から6月に教育委員会事務局職員による内部評価の後に、7月に教育委員会の皆様による第1回点検評価会議、そして、8月に外部有識者を交えた第2回の点検評価会議を実施いたしました。

外部有識者につきましては、項番7に記載をしてございます東海大学の有村教授にお願いをいたしまして、第三者の視点で御意見を頂戴してございます。

続いて、ページが飛びます。16ページを御覧ください。こちら教育委員の皆様それぞれの評価ということで、18ページにかけまして内容を掲載してござ

います。

さらに、19ページをお開きいただきたいと思います。こちら外部有識者の総合的な意見ということで、22ページまでにかけて掲載をしてございます。

次に、24ページをお開きいただきたいと思います。点検評価の結果を集計表として掲載してございます。1つ目の「CHECK」でございます。評価結果の集計表を御覧ください。集計表につきましては、左から順番に、評価の項目、区分、そして件数を記載してございます。評価につきましては、AからDの4段階で評価をしてございます。

上から、進捗状況につきましては、A評価が1件、B評価57件、C評価2件、D評価3件でございました。

続いて、必要性に関しましては、A評価34件、B評価が29件、そして、C評価とD評価は0件でございました。

さらに、有効性に関しましては、A評価が29件、B評価が34件、C評価とD評価は0件でございました。

また、下の表の「ACTION」の欄の取組の方向性に関しましては、主な取組63の対象の全てが継続実施という結果になってございます。なお、主な取組ごとの個別の評価シートにつきましては、25ページ以降に掲載をしてございます。

最後に、今後のスケジュールでございますが、本日、議案の御承認をいただきましたら、10月に市議会へ報告いたしまして、その後、市のホームページ等で報告書を公開する予定としてございます。

説明は以上となります。

○教育長【宮村進一】 ありがとうございました。

委員の皆様には、7月、8月、2回の点検評価会議の中でそれぞれのシート等について御意見をいただき、それを反映させて今回取りまとまっているわけなので、ここで改めて、全体像ですとかそういった総論的なところで何か御意見、御質問等ございましたら、お願いします。

私から1点、10月に議会報告とありますが、具体的にはどのような形で報告するんですか。

○教育部長【熊澤信一】 全議員がお集まりいただく機会がございますので、その場におきまして、10月の中旬以降になりますけれども、報告したいと考えております。

○教育長【宮村進一】 分かりました。他にいかがでしょう。よろしいですか。

多くの事業を実施する中で、進捗状況についてはおおむね順調、必要性については、むしろ必要性が増しているというのが全件、そして、有効性についても認められ、したがって全ての取組が継続実施となっています。これが教育部の現状ということで、事務局の皆さん、お疲れさまでした。

日程第4、議案第31号 令和7年度伊勢原市教育委員会点検評価について、原案のとおり決することで御異議はございませんか。

○教育長及び委員全員 (了承)

○教育長【宮村進一】 それでは、御異議がないものと認め、本案は原案のとおり可決、決定いたしました。

----- ○ -----

その他

○教育長【宮村進一】 続きまして、その他でございます。まず、委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。

事務局から何かございます。よろしいですか。

それでは、ないようですので、最後に、来月の定例会日程をお願いいたします。

○参事（兼）教育総務課長【瀬尾哲也】 次回の会議は、10月24日金曜日午前9時30分から、場所は議会第2会議室での開催となります。

以上です。

○教育長【宮村進一】 それでは、本日の教育委員会会議はこれをもって閉会といたします。ありがとうございました。

----- ○ -----

午後2時32分 閉会